

平成 28 年度

「運営に関する計画」

大阪市立市岡中学校

大阪市立市岡中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

○ 学校教育目標

自律した個人として自己を確立させ、他者と協力しこれからの社会を担うことをめざさせ、心豊かに力強く生き抜く力を育む

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 「学力の向上」においては、日々の学習指導においての研究・工夫・改善などにより、生徒の学習に対する取り組みに良好な変化がみられており、成果が表れてきている。しかし、全国学力・学習状況調査結果において各教科とも全国平均を下回るなど、成果は得られていないのが現状である。
- 「道徳心、社会性の育成」においては、様々な教育活動の場面で、「互いを思いやる心の育成」を計画的・継続的に実践し、学校行事を計画実践していくなかで、協力し合う姿勢の定着がみられ、秩序ある集団に成長しつつある。さらに改善と向上を目指す必要がある。
- 「健康・体力の保持増進」においては、健康診断後の受診率を高め、生徒自身に自らの健康に大きな関心と注意力を身につけさせる。また、バランスの取れた朝食を毎日食べる割合を増やし、食育を推進する必要がある。
- 「特別支援教育の充実」 特別支援教育担当、特別支援委員会を中心に、生徒個々の状況をしっかりと把握するとともに、共通理解をし、全教職員で、生徒に寄り添い、一人ひとりを大切にしたきめ細やかな指導と支援の充実、定着を図る必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 学校評価アンケートの「授業はわかりやすく楽しい」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (マネジメント改革関連)
- 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果において、A・B問題全領域で正答率が全国平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「先生は自分たちの学力充実のために努力・工夫をしている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(マネジメント改革関連)
- 図書館の週の開館回数を7回以上にし、学校評価アンケートの「読書が好きだ」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(カリキュラム改革関連)
- 放課後や土曜日そしてテスト前や長期休業日中の自主学習(補習を含む)の参加生徒を延べ500人以上とし、学校評価アンケートの「家で勉強をしている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校評価アンケートの「学級や学年でいじめや問題行動が起きない雰囲気がある」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「学校が開かれている」と回答する保護者の割合を90%以上とする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 学校評価アンケートの「朝食はしっかり摂っている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「自分の健康に関心を持っている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 「体力・運動能力、運動習慣調査」において、全国平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)

【視点 特別支援教育の充実】

- 障がいのある生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者との共同作業で作成する。そして、学校評価アンケートの「一人ひとりをいたせつにした教育を推進している」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 校内のユニバーサルデザインを確立し、授業のユニバーサルデザインを推進し、学校評価アンケートの「学校の教育環境は整っている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 学校評価アンケートの「授業はわかりやすく楽しい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (マネジメント改革関連)
- 今年度全国学力・学習状況調査の結果において、A・B問題全領域で正答率が大阪府平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「先生は自分たちの学力充実のために努力・工夫をしている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(マネジメント改革関連)
- 図書館の週の開館回数を7回以上にし、学校評価アンケートの「読書が好きだ」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(カリキュラム改革関連)
- 放課後や土曜日そしてテスト前や長期休業日中の自主学習(補習を含む)の参加生徒を延べ500人以上とし、学校評価アンケートの「家で勉強をしている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校評価アンケートの「学級や学年でいじめや問題行動が起きない雰囲気がある」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「学校が開かれている」と回答する保護者の割合を80%以上とする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 学校評価アンケートの「朝食はしっかり摂っている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「自分の健康に関心を持っている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 「体力・運動能力、運動習慣調査」において、大阪府平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)

【視点 特別支援教育の充実】

- 障がいのある生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者との共同作業で作成する。そして、学校評価アンケートの「一人ひとりをいたせつにした教育を推進している」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- 校内のユニバーサルデザインを確立し、授業のユニバーサルデザインを推進し、学校評価アンケートの「学校の教育環境は整っている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

【視点 学力の向上】

【視点 道徳心・社会性の育成】

【視点 健康・体力の保持増進】

【視点 特別支援教育の充実】

大阪市立市岡中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○学校評価アンケートの「授業はわかりやすく楽しい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (マネジメント改革関連)</p> <p>○今年度全国学力・学習状況調査の結果において、A・B問題全領域で正答率が大阪府平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校評価アンケートの「先生は自分たちの学力充実のために努力・工夫をしている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(マネジメント改革関連)</p> <p>○図書館の週の開館回数を7回以上にし、学校評価アンケートの「読書が好きだ」と回答する生徒の割合を80%以上とする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○放課後や土曜日そしてテスト前や長期休業日中の自主学習(補習を含む)の参加生徒を延べ500人以上とし、学校評価アンケートの「家で勉強している」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (マネジメント改革関連)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①－1 【教務部 授業を伴う校内研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">・全教職員が年1回以上の公開授業を実施し、意見交換をする中で、指導力の向上を目指す。 (マネジメント改革関連)・各教職員が、説明・板書・発問の実施方法を見直し、生徒にとって「わかりやすい授業」となるよう工夫する。 (カリキュラム改革関連)・初任者や若手教員と中堅・ベテラン教職員によるOJTを実践する。 (マネジメント改革関連)	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が年1回以上、授業研究を実践する。 ・今年度の授業アンケート調査で、「授業はわかりやすい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 	
<p>取組内容①－2【教務部 自主学習習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題や課題の提出、確認テストなどの実践により、生徒の学習理解度を確認し、生徒が一人で学ぶことができる学習教材を提供し、自主学習の習慣を身につけさせる。 (カリキュラム改革関連) ・宿題を提出させ、予習・復習を定着させ、家庭で学習する習慣をつけさせる。 (カリキュラム改革関連) 	
<p>指標</p> <p>「全国学力・学習状況調査」において、「家で復習している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容①－3【教務部 ICT 機器の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用により、視覚的に教材提示をすることで、生徒にとって授業が楽しく、わかりやすくなるような工夫をする。 (マネジメント改革関連) ・ICT機器の整備を進め、活用に関する校内研修を実施する。(マネジメント改革関連) 	
<p>指標</p> <p>「教職員対象のアンケート」において、「ICT機器を用いた授業を行っている」と回答する教員を70%とする。</p>	
<p>取組内容②－1【各教科】(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、筋道立てて適切に文章を書くことができるよう、作文指導、手紙・葉書の書き方指導を行い、「書く能力」の向上に努める。 ・話を的確に聞き取り、丁寧にかつ適切に文章化する力を養えるよう、ノートのまとめ方の指導や、聞き取りテストを行う。さらに、聞き取った情報を踏まえて、目的や場面に応じて筋道を立てて話すことができるように指導することで、「話す・聞く能力」の向上を図る。 ・読書の習慣を身につけさせ、文章を的確に読み取り、読書に親しみを持つことができるよう、図書館を利用した授業づくりや、朝読書の振り返りを行うことで、「読む力」の育成につなげる。 ・これら全ての基盤をつくりながら、語句、語彙、漢字等の力を身につけさせることで、「知識・理解・技能」の力を高める。 ・様々な授業づくりを行いながら、言語活動に進んで取り組み、互いに伝え合うことに熱心な姿勢がみられるよう、国語への「关心・意欲・態度」を高める。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>少人数授業に関する実施前後のアンケートの項目「国語の授業はわかる」において、「よくあてはまる」「あてはまる」といった肯定的な意見の割合を10%増やす。 2学期実施の実力テスト「国語」の平均正答率を66%（1年）・57%（2年）・57%（3年）とする。</p>	

取組内容②－2 【各教科】〈社会〉

- ・ 時事問題を提示することにより、社会に関する関心を高める。
- ・ 資料を多く用いることにより、社会的事象についての思考力をつけ、社会の変化をふまえて公正に判断し、表現することができるようとする。
- ・ 演習問題に取り組むことにより、社会的事象に対する知識の定着を図る。

(カリキュラム改革関連)

指標 平成28年度の「学校評価アンケート(生徒)」の結果において、授業はわかりやすい、の割合を80%以上とする。時事問題にかかる掲示物を掲示し、関心を高める。チャレンジテストの平均点を60点以上とする。

取組内容②－3 【各教科】〈数学〉

- ・ 基本的事項の習熟を図り、基礎学力の向上に努める。特に導入における教材の工夫を進めることで『関心・意欲』を高め、学習に対する適切な『態度』をより育みたい。
- ・ 日々の授業において復習の機会を確保し、小テストなど理解度の確認を行うことで『知識・理解』を深め、練習問題に繰り返し取り組ませることで数学的な表現や処理を行う『技能』を高めたい。
- ・ 事象を多面的にとらえ、ひとつの設問に複数の解法を見出すなど数学的な『見方・考え方』を身に付けるため、基礎学力の向上に加えて発展的な内容に取り組む力を養う。

(カリキュラム改革関連)

指標 ・習熟授業の実施前後のアンケートにおいて、「今の授業形態が自分の学習に相応しいと思う」の割合を10%上げる。
・2学期実施の実力テスト『数学』の平均正答率を全学年57%以上にする。

取組内容②－4 【各教科】〈理科〉

- ・「感心・意欲・態度」 発達段階に応じて、子どもたちが知的好奇心を持って自然に親しめるように、観察実験を多く取り入れる。
- ・「思考・表現」 指導内容に応じて、観察や実験の結果を整理し考察する学習活動を取り入れる。科学的な考え方を用いて表現できるようになる。
- ・「技能」 主体的に実験・観察に参加できるような実験技能の習熟をめざす。
- ・「知識・理解」 科学的な認識の定着を図り、調べる能力や正しく判断する力を養う。

(カリキュラム改革関連)

指標 ・「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、授業はわかりやすい、の割合を80%以上とする。
・チャレンジテストの平均点を55%とする。

取組内容②－5 【各教科】〈音楽〉

- ・「意欲・関心・態度」 開始前に授業の準備をきちんと揃え、指示や説明を正しい姿勢で関心をもって聞く。実技では意欲的に声を出し、表情や身体を動かす等、提示された内容に真剣な態度で取り組む。

- ・「創意工夫」 音楽の表現を高めるために、どんなことを工夫するか考え、判断し、実践につなげるよう努力する。また、楽譜に書かれている記号などを意識しているかを毎回の授業や実技テスト、筆記テストにより確認する。
- ・「技能」 発声、発音、奏法、ブレスコントロール、音程、表情、リズム感、曲のまとまりや雰囲気を表現する技能が身についているか、授業や実技テスト等で確認する。
- ・「鑑賞の能力」 作曲家の意図や思い、演奏者の意図を感じ取り、理解し、それを言葉に表してプリントにまとめる。また、音楽作品の作られた時代背景に興味をもち、理解しようと努める。学習した内容を提出プリントや筆記テストにより、定着を図る。

(カリキュラム改革関連)

指標 「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、授業はわかりやすい、の割合を80%以上にする。

取組内容②－6 【各教科】〈美術〉

- ・授業の準備物やプリント、作品の提出ができること。また、準備や後片付けを含む、意欲的な姿勢で実習に取り組む態度を養い、伸ばす。
- ・課題を通して、独創的なアイディアで表現ができ、計画的に作業ができる能力を養う。
- ・実習において、創造的な技能を養い伸ばす。
- ・鑑賞では、自他の作品を認め合う心情を養い、美術的文化が学習できるようにする。

(カリキュラム改革関連)

指標 授業で取り組んだ課題の提出の割合が80%以上である。

取組内容②－7 【各教科】〈保健体育〉

- ・実技に必要な用具をそろえ、毎時間実施するランニング、ラジオ体操等の準備運動を意欲的に取り組んでいるかなどを確認することで関心・意欲・態度を高める。
- ・単元ごとの記録カード(考察項目含む)等を記入させることにより、各自の思考・判断力を高める。また、相互点検させることで、互いの技能や形などの確認点検を行い、理解、適切な判断、指示できる力を養う。
- ・実技テスト、記録を通じ、運動の楽しさ、喜びを味わう技能を高める。
- ・定期考查、学習ノートなどを通じ、保健体育に関する総合的な知識・理解を高める。

(カリキュラム改革関連)

指標 「平成28年度の大都市体力・運動能力調査」の結果において、各学年の体力合計得点を大阪府平均以上にする。

取組内容②－8 【各教科】〈技術・家庭〉

- ・生活の自立に必要な生活力の定着を目指し、生徒一人一人が自主的に取り組み、互いに協力し合い、基礎基本的な知識や技能の定着に努める。
- ・「関心・意欲・態度」については、授業への積極性、話を聞く姿勢、班活動で意見を発表するなどの授業態度、提出物や毎回の忘れ物チェックなどをもとに評価する。これらをもとに、

	<p>意欲的に授業に参加することで、より良い生活を送るための知識や技術を進んで活用しようとする力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工夫し創造する能力」については、毎回の授業のノートやプリントにメモをとり、テスト前の自主学習等を提出することで、自ら主体的に工夫・創造する力を養う。 ・「技能」については栽培・調理・裁縫等の実習や作品を丁寧に正確に作っているか、実習レポートを丁寧に完成させて提出しているか等を基に、基礎的な技術を身に着ける力を養う。 ・「知識・理解」については、定期テストを行うことにより、学習した内容のさらなる定着を図る。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>
指標	「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、授業はわかりやすい、の割合を技術・家庭科の平均をとって80%以上にする。
取組内容②-9 【各教科】〈英語〉	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」については、提出物(自主学習ノートも含む)や忘れ物チェック等を入念に行う。また授業中については積極性やサポート姿勢についてもチェックする。 ・「表現の能力」について、スピーキングテストや英作文においてはC-netの先生とも連携を深める。 ・「理解の能力」については、授業中においてリーディングテスト、リスニングテストまた、定期テストや実力テストにおいて読解力をはかる。 ・「知識」については、主に定期テストや実力テストにおいて、英文法やその他文化的な事柄についてはかる。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連) (グローバル化改革関連)</p>
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業の実施前後のアンケートにおいて、「今の授業形態が学び易いと思う」の割合を10%上げる。 ・2学期実施の実力テストの平均正答率を70%(1年)、65%(2年)、55%(3年)以上とする。
取組内容③【図書館】	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用人数を増やし、読書の習慣を身につけさせる。(マネジメント改革関連)
指標	図書館の利用率を20%以上とし、生徒アンケートにおいて「読書の習慣がついてきている」とする肯定的な意見を50%以上とする。
取組内容④【若手教員研修の充実】	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業、各種校内研修の充実を図り、教科指導力を含む、教師力の向上を図る。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>
指標	経験年数5年以内の教員を中心に、教科指導力を高めるため、校内の研究授業や各種研修を昨年度よりも多く実施する。
取組内容⑤-1 【学力向上 各学年 1年】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の自主学習を充実させ、テスト前や長期休業中の補習を行い、基礎・基本的な事柄の定着を目指す。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>
指標	チャレンジテストの無回答率を、昨年度の水準より減らす。

取組内容⑤－2 【学力向上 各学年 2年】

- ・各教科の自主学習を充実させ、テスト前や休業中を中心に補習学習を行い、基礎学力の向上を目指す。

指標 チャレンジテストの平均正答率を55%以上にする。

取組内容⑤－3 【学力向上 各学年 3年】

- ・家庭学習・自主学習を定着させる。また補習学習を充実させ、基礎学力の向上を目指す。

指標 チャレンジテストの平均正答率を昨年より1ポイント以上上げる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①－1 【教務部】授業を伴う校内研修の充実

取組内容①－2 【教務部】自主学習習慣の確立

取組内容①－3 【教務部 ICT機器の活用】

取組内容②－1 【各教科】〈国語〉

【書く】

【話す・聞く】

【読む】

【知識・理解】

【関心・意欲】

取組内容②－2 【各教科】〈社会〉

取組内容②－3 【各教科】〈数学〉

取組内容②－4 【各教科】〈理科〉

・「関心・意欲・態度」

・「思考・表現」

・「技能」

・「知識・理解」

取組内容②－5 【各教科】〈音楽〉

・「意欲・関心・態度」

・「創意工夫」

・「技能」

・「鑑賞の能力」

取組内容②－6 【各教科】〈美術〉

取組内容②－7 【各教科】〈保健体育〉

取組内容②－8 【各教科】〈技術・家庭〉

取組内容②－9 【各教科】〈英語〉

取組内容③【図書館】

取組内容④【若手教員研修の充実】

取組内容⑤－1 【学力向上 各学年 1年】

取組内容⑤－2 【学力向上 各学年 2年】

取組内容⑤－3 【学力向上 各学年 3年】

次年度への改善点

取組内容①－1 【教務】授業を伴う校内研修の充実

取組内容①－2 【教務】自主学習習慣の確立

取組内容①－3 【教務部 ICT 機器の活用】

取組内容②－1 【各教科】〈国語〉

取組内容②－2 【各教科】〈社会〉。

取組内容②－3 【各教科】〈数学〉

取組内容②－4 【各教科】〈理科〉

取組内容②－5 【各教科】〈音楽〉

・「意欲・関心・態度」

・「創意工夫」

・「技能」

・「鑑賞の能力」

取組内容②－6 【各教科】〈美術〉

取組内容②－7 【各教科】〈保健体育〉

取組内容②－8 【各教科】〈技術・家庭〉

取組内容②－9 【各教科】〈英語〉

取組内容③【図書館】

取組内容④【若手教員研修の充実】

取組内容⑤－1 【学力向上 各学年 1年】

取組内容⑤－2 【学力向上 各学年 2年】

取組内容⑤－3 【学力向上 各学年 3年】

大阪市立市岡中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○学校評価アンケートの「学級や学年でいじめや問題行動が起きない雰囲気がある」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校評価アンケートの「学校が開かれている」と回答する保護者の割合を90%以上とする。 (ガバナンス改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づき、道徳の授業を確保し、授業に使用する教材の研究、整備に努め、系統的、継続的な取り組みができるように努める。 <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、道徳の学習を通して自他を尊重し、互いを思いやる心が養えてると思う。と回答する生徒の割合を80%とする。</p>	
<p>取組内容②【人権を尊重する教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、学級、部、委員会、校内組織などと連携し、生徒の生活課題を把握し、共通理解する中で、生徒の学ぶ力、生きる力を育む実践を創造し人権教育を推進する。 ・特別支援教育では、通常学級との交流を行い、共に豊かに生きる集団育成に努める。また、保護者連携を大切にし、進路保障に努める。 <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、人権の大切さについて学ぶ機会が多いと答える生徒の割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容③【キャリア教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が自分の個性や存在の大切さを自覚し、互いに認め励ましあい、高めあうことができる集団の育成に努める。 <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、将来の進路や生き方について考えたことがあると答える生徒の割合を昨年度より増やす。</p>	

	<p>取組内容④【校種間連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の一貫した学習指導や生活指導の方法などの研究に努める。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>	
指標	「平成28年度学校評価アンケート」の結果において、校種間連携が進んでいるとする割合を昨年度より増やす。	
	<p>取組内容⑤【いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員があらゆる場面において、いじめは絶対に許されないものであることを指導し、いじめを未然に防ぐよう努め、早期発見、対応に協力して取り組む。アンケートも実施する。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	
指標	「平成28年度学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと考えることや、そのような雰囲気を出させない」生徒の割合を95%以上にする。	
	<p>取組内容⑥【問題行動への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動について情報を共有し、発生時には全教職員で協力、連携して対応にあたる。 <p style="text-align: right;">(学校サポート改革関連)</p>	
指標	校務部会、主任会、職員会議、職員朝礼などで情報を共有し、生活指導の共通理解を図り、全教職員が協力、連携して指導にあたる。	
	<p>取組内容⑦【防災教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種防災訓練、道徳、総合の時間等を通じ、防災に関する意識を高める。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>	
指標	「平成28年度学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「地域や防災に役立ちたい」とする割合を80%以上にする。	
	<p>取組内容⑧－1【特別活動 生活指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会専門委員を分担し、生徒会活動を充実させる。 ・学校行事、学級活動、部活動などを通じ、集団意識を高める。 ・部活動の充実、活性化を図る。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>	
指標	「平成28年度の学校評価アンケート」の結果において、「学校は特別活動の充実に努めている」と答える割合を80%以上にする。	
	<p>取組内容⑧－2【特別活動 各学年】</p> <p>(1年) 様々な活動を通して、連帯感や責任感を大切にし、挨拶や感謝の気持ちを伝えられる集団を育成する。</p> <p>(2年) 様々な学校行事・学年行事を経験させながら、仲間を意識して支え合える集団を育成する。自分自身の特性を見つめ直し、進路を考えさせる機会を持たせる。</p> <p>(3年) 学校行事、学年行事の活動を通して、自主性を育て、進路に向けて自らが考え、選択できる力をつけさせるとともに、他人の気持ちを考え、自分の言動に責任を持ち、自分のことだけでなく相手のために考え方行動できる人間性を育む。</p>	

	(カリキュラム改革関連)
指標	「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、体育大会や文化祭、芸術鑑賞、宿泊行事などの学校行事は楽しみであると答える生徒の割合を、80%以上とする。
取組内容⑨【国際理解教育の推進】	<ul style="list-style-type: none"> 「帰国した子どもの教育センター校」と連携して、多文化共生教育の推進に努める。 各活動において、人権教育に基盤を置いた国際理解、多文化共生教育に努める。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>
指標	「平成28年度の学校評価アンケート(保護者・生徒)」の結果において、学校は国際理解教育の推進に努めていると答える割合を80%以上とする。
取組内容⑩【美化・環境整備】	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内外の美化、清掃を徹底するとともに、机・椅子等の公共物を大切にする意識を高める。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>
指標	「平成28年度の学校評価アンケート(保護者・生徒)」の結果において、「学校は美化・環境整備が整っている」と答える割合を昨年度より増やす。
取組内容⑪【学校・家庭・地域の連携の推進】	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や取組に積極的に参加するとともに協力する。特に吹奏楽部は地域からの参加協力要請が多くあり地域の期待に応えられるよう努める。 地域との連携を深めるため、土曜日に本校茶道部が地域の方を招待し、お茶会を実施する。 <p style="text-align: right;">(学校サポート改革関連) (ガバナンス改革関連)</p>
指標	「平成28年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「今住んでいる地域の行事に参加している」と肯定的に回答する割合を80%以上とする。
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【道徳教育の推進】	
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】	
取組内容③【キャリア教育の推進】	
取組内容④【校種間連携】	
取組内容⑤【いじめへの対応】	
取組内容⑦【防災教育の推進】	
取組内容⑧－1【特別活動 生活指導部として】	

取組内容⑧－2 【特別活動 各学年として】

(1年)

(2年)

(3年)

取組内容⑨ 【国際理解教育の推進】

取組内容⑩ 【美化・環境整備】

(美化)

(環境整備)

取組内容⑪ 【学校・家庭・地域の連携の推進】

次年度への改善点

取組内容① 【道徳教育の推進】

取組内容② 【人権を尊重する教育の推進】

取組内容③ 【キャリア教育の推進】

取組内容④ 【校種間連携】

取組内容⑤ 【いじめへの対応】

取組内容⑥ 【問題行動への対応】

取組内容⑦ 【防災教育の推進】

取組内容⑧－1 【特別活動 生活指導部として】

取組内容⑧－2 【特別活動 各学年として】

(1年)

(2年)

(3年)

取組内容⑨ 【国際理解教育の推進】

取組内容⑩ 【美化・環境整備】

(美化)

(環境整備)

取組内容⑪ 【学校・家庭・地域の連携の推進】

大阪市立市岡中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○学校評価アンケートの「朝食はしっかり摂っている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校評価アンケートの「自分の健康に関心を持っている」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校評価アンケートの「地域や防災の活動に役立ちたい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「体力・運動能力、運動習慣調査」において、大阪府平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食育だより」などを活用して生徒、保護者の意識を高める。 ・保健委員を中心に調べ学習を行い、「食」への関心を高める。(カリキュラム改革関連) 	
<p>指標 「平成28年度の全国学力・学習状況調査」の結果において、朝食を毎日食べている生徒の割合を昨年度より増やす。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりなどを通じて、疾病予防意識を高め、心身ともに健康な体作りの推進を図る。 ・各種検診の結果をもとに治療勧告をし、早期治療を図る。本人、保護者にも意識を持たせるよう指導を行う。 ・毎年1年生対象に「歯と口の健康教室」を開催し、歯の健康意識を高める。 	
<p>指標 平成28年度は昨年度よりう歯についての罹患率を減らし、受診率を増やす。</p>	
<p>取組内容③【体育的行事の充実】(保健体育科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学級活動の充実を図る。 ・部活動の活性化に努める。 	
	(カリキュラム改革関連)

指標	3学期に行う「保健体育科」の授業アンケートの結果において、運動やスポーツをすることに興味が増したと答える生徒の割合を90%以上とする。
取組内容④【体力向上への支援】(保健体育科)	・授業内容や教材を工夫し、生徒に運動への興味関心を持たせる。
指標	単元ごとに教師間で意見交流し運動が好き、もっとしたいという生徒を増やす。
取組内容⑤【体力向上の取組 各学年】	(1年) 学年集会、学年活動を通して、基本的生活習慣、規律ある行動を身につけさせるとともに、活動することへの興味関心を高める。 (2年) 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、健康に関する学習や指導を行い健康に対する意識を高める。スポーツ大会を計画・実施することにより、学年全体で積極的に運動に取り組む機会を増やす。 (3年) 基本的生活習慣を身につけさせ、進路に向けて健康意識を高める。また、最高学年として体育行事、部活動により積極的に取り組む姿勢を育てる。
指標	「平成28年度の大坂市体力・運動能力調査」の結果において、各学年の合計得点を昨年度の水準より増やす。
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【食育】	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】	
取組内容③【体育的行事の充実】(保健体育科)	
取組内容④【体力向上への支援】(保健体育科)	
取組内容⑤【体力向上の取組 各学年】	
(1年)	
(2年)	
(3年)	
次年度への改善点	
取組内容①【食育】	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】	
取組内容③【体育的行事の充実】(保健体育科)	
取組内容④【体力向上への支援】(保健体育科)	
取組内容⑤【体力向上の取組 各学年】	
(1年)	
(2年)	
(3年)	

大阪市立市岡中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 特別支援教育の充実】 ○障がいのある生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者との共同作業で作成する。そして、学校評価アンケートの「一人ひとりをたいせつにした教育を推進している」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)	
○校内のユニバーサルデザインを確立し、授業のユニバーサルデザインを推進し、学校評価アンケートの「学校の教育環境は整っている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【特別支援教育の充実 情報交換】 ・個々の生徒についての、効果的で全校的な情報交換を実施する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 定期的に「特別支援委員会」を開催し、効果的で全校的な情報交換をする。	
取組内容②【特別支援教育の充実 生徒対応】 ・個々の生徒に応じた、より適切な対応（指導・支援）を実践する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導と支援を行い、生徒が社会に自立できるよう、可能性を伸ばす	
取組内容③【特別支援教育の充実 進路指導】 ・入学前、卒業後も含めた進路指導を実践する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ・新入生については進学相談、中学校見学会、小中連絡会、入学前懇談会等を行い、小学校や保護者との連携を密にはかる。 ・卒業生については、中高連携を深めることにより、生徒把握に努める。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【特別支援教育の充実 情報交換】	
取組内容②【特別支援教育の充実 生徒対応】	
取組内容③【特別支援教育の充実 進路指導】	

次年度への改善点
取組内容①【特別支援教育の充実 情報交換】
取組内容②【特別支援教育の充実 生徒対応】
取組内容③【特別支援教育の充実 進路指導】